

第八回 皇學館大學人文學會大会

日時 平成二十七年七月五日(日) 九時〇〇分～(受付八時三〇分～)
会場 皇學館大学 四号館三階 四三一教室
日程

◇開会の辞(九時〇〇分～九時一〇分)

本会会長

深津 睦夫

◇研究発表 午前(九時一〇分～一時五〇分) ※発表一人三〇分、質疑応答含む)

- ① 伊勢神宮における元禄年間の朝儀復興について
皇學館大学院文学研究科博士後期課程国史学専攻 山田 恭大氏
- ② 井上靖「楼蘭」における宿命観―白い河床のイメージについて―
皇學館大学院文学研究科博士後期課程国文学専攻 劉 淙淙氏
- ③ 明治期日本における皇室の社会的受容―開明社「川下」―一件を事例として―
京都大学大学院文学研究科日本史学専修博士後期課程 池田さなえ氏
- ④ 『皇太神宮儀式帳』の四至について―「以北」表記に関する一考察―
皇學館大学研究開発推進センター助手 佐野 真人氏
- ⑤ 触頭としての武蔵国秩父神社藪田神主家
戸田市立郷土博物館学芸員 石川 達也氏

◇研究発表 午後(一三時〇〇分～一四時三〇分) ※発表一人三〇分、質疑応答含む)

- ⑥ 斎藤茂吉の「圧搾」と「省略」
同志社女子大学研究生、近畿大学非常勤講師 田中 教子氏
- ⑦ 『岐蘇路安見絵図』の出版と宝暦期の江戸出版界
信州大学人文学部准教授 速水 香織氏
- ⑧ 魏志倭人伝から見た邪馬台国大和説―「冢」は墳にあらざ、「国」は国にあらざ―
上野 利三氏

◇総会(一四時三〇分～一四時四五分)

◇記念講演(一五時〇〇分～一六時三〇分)

文学部の文明的任務について

講師 名古屋大学文学研究科教授 塩村 耕 先生

◇懇親会(一七時〇〇分～一九時〇〇分) 於皇學館大学倉陵会館二階

- 大会参加費無料、会員以外の方のご来聴も歓迎いたします。
- 事前申込は不要です。

ただし昼食を希望される方(弁当代一千元)、懇親会に参加される方(参加費 一般四千元、院生・学生二千元)は、左記の要領で代金を六月末日までにお支払ください。

支払方法

- 本学学生 学生支援部学生担当の横にある証明書発行機にてお支払ください。
- 本学教職員 出版部にて現金でお支払ください。
- 学外・一般 郵便振替(〇〇八〇〇一九一六三四八 皇學館大學人文學會)をご利用ください(通信欄に「人文学会大会 懇親会費」「人文学会大会 昼食代」と明記してください)。

皇學館大學人文學會

電話 〇五九六(二二)〇二〇一(代)

メール jinbun@kogakkan-u.ac.jp